



WAKWAK

発行

代表理事 岡本 茂
〒569 高槻市富田町2丁目13-8
-0814 ハイソ白菊1F
TEL/FAX 072-693-9005
E-mail:jinken@ba.wakwak.com
URL:http://wak2.jimdo.com

出会い・つながり・元気を創造する地域福祉へ 新たな事業にもチャレンジ

女性たちが身近な課題を気軽に集える
WAKWAK おはなカフェが始まりました

地域で子育て支援・高齢者支援・障がい児者支援・多文化共生などに関わってきた女性たちが中心になって、身近な課題をゲストを招いて気軽に話し合える場をつくろうと発足。ネーミングも可愛く「おはなカフェ」と決定しました。

第1回はよつばもこさんをゲストに
「発達障がい児への支援の輪を広げよう」



記念すべき第1回は、発達障がい児を主人公にした絵本「学校コワイ」の作者でご自身も発達障がいの子どもさんをもつよつばもこさんをゲストに9月18日(木)午後12時からサニースポット喫茶クローバーで行われました。

第2回は「ふうちゃんから手話をならおう」

2回目は10月3日(金)、「ふうちゃん」こと藤岡扶美(手話うたパフォーマー)さんがゲスト。映画「アナと雪の女王」の挿入歌「ありのままで」の手話にはみんなうっとり。

12月7日開催のフェスタ・ヒューマンライツには「おはなカフェ」から希望者を募り手話歌のステージ発表を行うことになりました。

会食サービスと合わせた「いきき体操」

第3回は、サニースポット喫茶クローバーで行っている高齢者会食(ひまわり食事会)と合わせて、老化防止のためのWAKWAK体操を10月9日(木)に開催。富田町にあるサービスセンターつむぎの家管理者の高井真之さんから体操指導をいただきました。

女性たちによる企画会議では、子育て中のママ・パパを対象とした「わくわくあそび塾」も計画中です。たのしみですね!



12月開催のフェスタ・ヒューマンライツ
「おはなカフェ」手話うた
出場者募集中で～す!



日時 12月7日(日)10時~15時
場所 富田ふれあい文化センター
*予定している曲は「ありのままで」と「アンパンマンマーチ」です。
*出場いただける方はWAKWAK事務所までお問合せ下さい。

生活困窮家庭の子どもたちへの学習支援事業を スタートさせましたーこどものあゆみバックアップ事業ー

8月から学習支援教室「わんぴーす」 を開講

生活困窮家庭の子どもたちをはじめ様々な課題を持つ子ども達をバックアップする事業をWAKWAKとしてスタートさせました。

この事業はいわゆる生活困窮世帯の子どもたちが再び生活困窮者となることを余儀なくされている実態から「貧困の連鎖を断ち切る」ことを目的として実施するものです。



毎週2回夜に学習支援教室を開講

支援教室「わんぴーす」は富田ふれあい文化センターを会場に毎週2回月・水の夜7時～9時に開講。

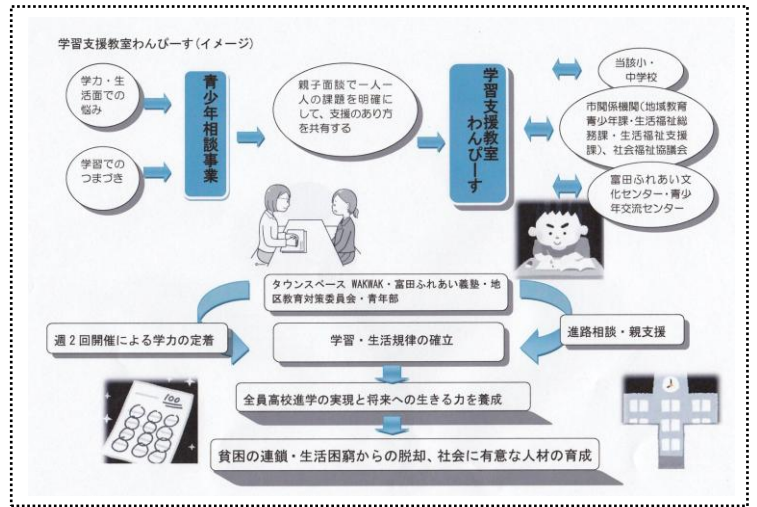
「学校の授業についていけない」「誰も教えてくれる人がいない」「勉強の方法がわからない」と感じている中学生のニーズは高く、9月には定員10名が一杯となりました。

講師の先生方からひと言

学習は自分のペースで自分が納得できるように進めることが大切です。

「学校の授業では聞けなかったこともここでは聞ける」「わかることが楽しい！」というみなさんの声を聞いて、大変だけどやりがいがあります。

教職員経験者 野田忠司・谷崎恵美子
大学生 塚崎宇宙・益永彩芽
平野麻由・石田吉人



親支援・教育相談も合わせて実施

この事業では中学生本人の学習支援のみならず子育てに悩む親支援も重視しながら学習生活環境の確立をめざしています。

また、学校との連携も欠かせないことから当面は第四中学校区の中学生を対象を絞らせていただきました。

事業継続のためには財政的支援が不可欠

今年度については大阪府福祉基金地域福祉助成金20万円をいただき事業をスタートさせましたが、講師謝礼や教材費等支出をまかなうためには財政支援が不可欠。

国では「生活困窮者自立支援法」が来年4月に施行され、貧困の連鎖防止のための学習支援事業もその柱とされていますが、自治体任意事業であるため施策化の見通しはこれからです。



芸術と福祉のWAKWAKするコラボレーション ボードレスアート事業

ボードレスアート教室わんだーぼっくす 11月から後期開講

障がいのある・ないを超えてアートでつながる事を目的に月2回土曜日開催しているボードレスアート教室わんだーぼっくす。
新しい講師も迎え前期は22名の参加、11月から後期が開講します。



12月にボードレスアート展も開催

3回目となるボードレスアート展では、「わんだーぼっくす受講生とピックアップアーティスト展」に加え、インドの子ども達と福島の子もたちが共同制作した「ボーンフリー・ゲルニカ」も展示。
「平和・人権・地球市民」をテーマにしたキッズゲルニカにも挑戦します。

わんだーぼっくす受講生・森脇連太郎君(小3) の作品がビッグアイ全国公募展で佳作入選

ビッグアイ（国際障害者交流センター）アートプロジェクト全国公募展にはわんだーぼっくすから2名4作品を応募出展。



小学校3年生の森脇連太郎君の「いろまぜあそび」が佳作入選に選ばれ、11月24日表彰式が行われます。おめでとう！

また、文化庁アールブリュット全国公募には3名4作品を応募出展予定です。

わんだーぼっくすから生まれた 作家たちの作品

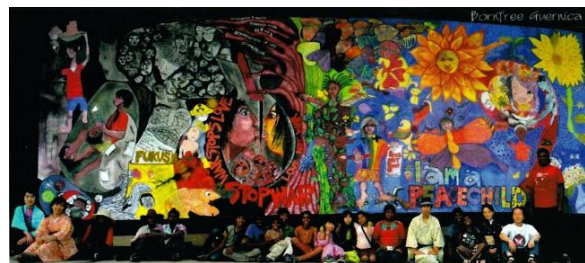


ボードレスアート展

日時 12月7日(日)～9日(火)
10時～17時(9日は16時閉展)

場所 富田ふれあい文化センター
☆アート作品展「わんだーぼっくす受講生と
ピックアップアーティスト展」
☆ボーンフリーゲルニカ展示
—入場無料—

連続アートワークショップ「あなたの夢 や思いをキッズゲルニカにえがこう」



日時 11月30日(日)14時～16時半
12月6日(土)10時～12時
7日(日)13時～17時

場所 富田青少年交流センター
参加費 800円
定員 40名(小学生以上・先着順)
申込締切 11月20日(木)

地域支え合い(高齢者お困りごとお助け隊)事業のたちあげプロジェクト始動



受ける福祉から になう福祉へ

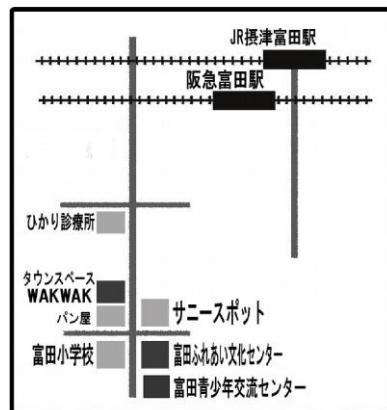
ひとりぐらし高齢者や高齢世帯への食事や買い物、家事支援、安否確認、心のケア等、様々な地域における社会的支援の仕組みづくりを構築することを目的に富田地域で新しいプロジェクトを発足させます。

中間的就労の場づくりも追及

この事業では地域の高齢者の「困りごと」を拾い集め、同時に様々な障がいのある人たちやいわゆるニート・ひきこもりとよばれる人たちの仕事・働く場づくり(中間的就労)をお助け隊として実施することもめざしています。

太陽生命厚生財団助成金事業にも採択

事業は社会福祉法人つながり、NPO 法人ニュースタート事務局関西・日本スローワーク協会との連携協働を予定。これら団体のほか、地元老人会・自治会、民生委員・児童委員や関係団体にも加わっていただき実行委員会を設立しました。この事業は太陽生命厚生財団からの助成金も活用して実施されます。



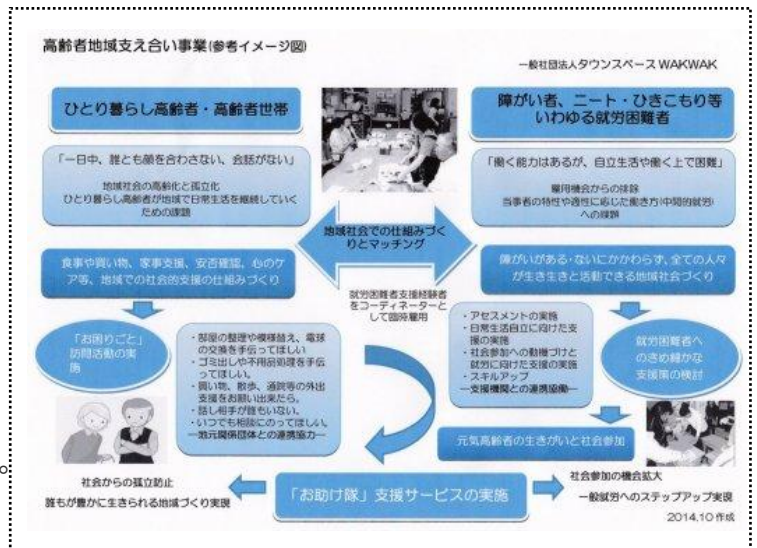
富田地域で 認知症徘徊者 地域見守り活動実行委員会が設立

認知症徘徊行方不明者を出さないため、地域全体で見守り活動ができるように自治会連合、民生・児童委員、福祉委員、商業組合、富田郵便局、高槻警察署、老人会、医療・介護福祉事業者、地域福祉活動団体等が中心となった実行委員会が 10 月に設立されました。

今後、講習会の開催、啓発ツール作成・配布の他、模擬演習訓練等の実施も確認。

認知症で徘徊しても安心できるまちづくりへ、タウンスペース WAKWAK も実行委員の一員として参加しています。

来春の支援サービス実施を目標



実行委員会では 11 月に対象地域高齢者への困りごと訪問聞き取り調査を実施。ニーズ調査に基づいたサービスメニューの検討と具体的システムの検討を行う予定です。

今夏は週末ごとに大雨警報が出されるなど不順な天候が続きました。編集後記

タウンスペース WAKWAK も法人設立三年目にしてのバックアップ事業など当初の計画に掲げた活動が展開できるようになりました。また、高齢者地域支え合い事業立ち上げに向けたプロジェクトも発足。「すべての人が居場所と出番」がある支え合いの地域社会へさらに夢を追いかけます。引き続き、お願いいたします。